

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ

ススキや萩が揺れ、朝晩も涼しくなりました。館山市は8月30日に「カーボンニュートラル宣言」を表明しました。清掃センターの改修も行われます。

地球温暖化の仕組みを解明した真鍋博士がノーベル物理学賞を受賞されます。この機会に、二酸化炭素削減、ゴミやエネルギーについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



鈴木ひとみ

令和3年第3回定例会 一般通告質問より

希望するすべての3歳児が幼稚園、こども園に通える環境づくり

公立幼稚園の3歳児クラス、こども園の3歳児短時間クラスの開設を望みます。

3歳児の就園率が全国的には90%近いのに対して、館山市では75.4%です。国は3歳児以上の幼児教育の環境整備を以前から推進しており、令和元年10月には無償化も始めました。館山市内に保育園の入園対象となるない(「家庭での保育にかける」という規定に当てはまらない)3歳児を受け入れる幼稚園は、私立幼稚園1園だけです。このことが、「国の幼児教育無償化の恩恵を得ることのできない3歳児」が多く存在する要因となっています。3歳児の幼児教育が全国的に当たり前のこととなっている昨今、市立幼稚園の3歳児枠、こども園の3歳児短時間枠の創設を急ぎ、どの子も幼児教育を受けられる環境を作るべきです。

コロナ禍で家の中にひきこもったままの小さなお子さんもいると思います。3歳は外の世界に興味を持ち、社会性の育つ大切な時期です。切な幼児教育を受けられる環境づくりを望みます。



北条幼稚園

●幼稚園、保育園、こども園の違い

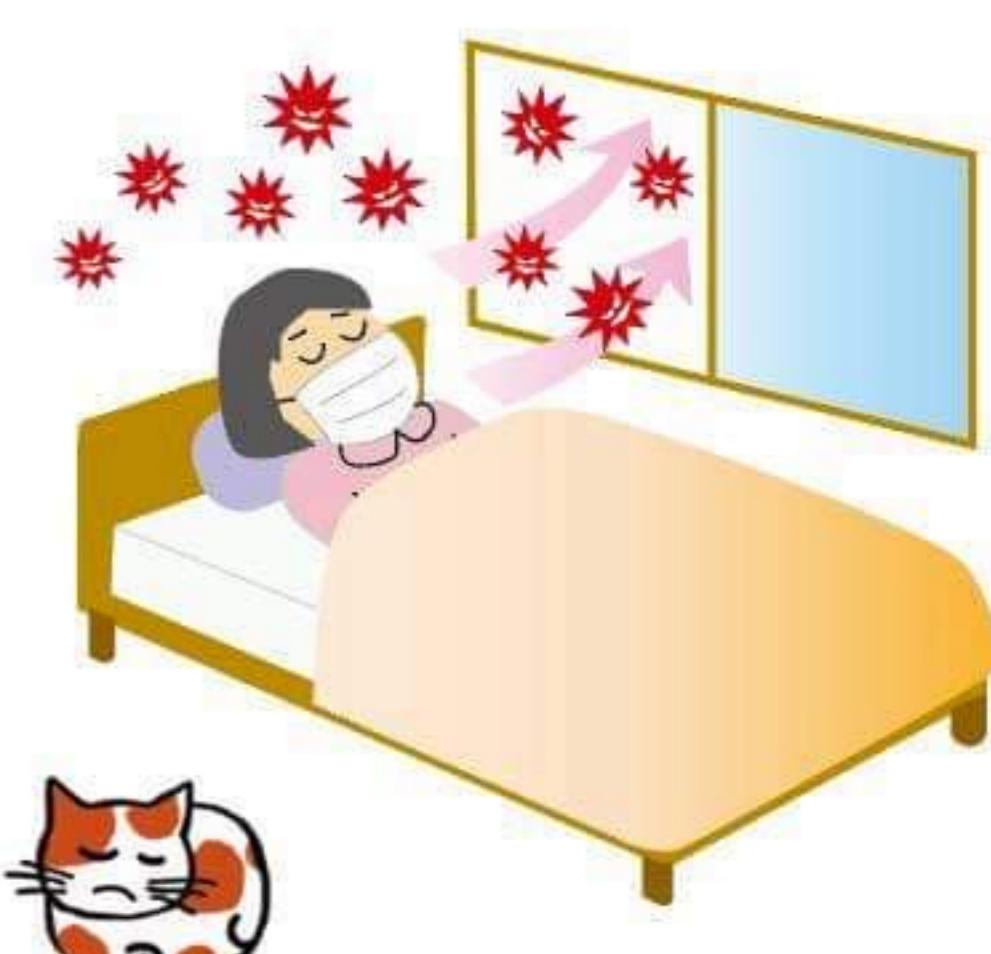
幼稚園、保育園、こども園は、いずれも就学前の子どもが集団生活を送る保育施設です。幼稚園は、教育基本法に基づく教育施設で、文部科学省の管轄です。保育園は児童福祉法に基づいて設置される児童福祉施設で、厚生労働省が管轄しています。保育園は、保護者が共働きであったり、ひとり親、病気療養中であったりするなど、「保育にかける」と考えられる乳幼児を主な対象とし、下に小さな子どもがいるなど、共働きではない家庭の子どもは預けることができません。

こども園は、幼保一元化により幼稚園と保育園を合せた施設ですが、館山市のこども園では「保育にかける」という規定に当てはまらない3歳児は通うことができません。

●新型コロナ感染症の自宅療養者への対応について

安房地域にも宿泊療養施設の整備を。

館山市内でも8月は感染者が急増しまし
たが、自宅療養、入院調整中となり、宅で過
ごす人が大半でした。自宅にいれば、家庭
内感染は防ぎにくく、子どもたちの感染も
増えました。安房地域内の宿泊療養施設の
確保は急務です。自宅療養の場合には、食
料や生活用品の不足が生じるので買い物
代行の仕組みも必要です。9月15日に市と
県が覚書を結び、健康課が自宅療養者の支
援を行うことになりました。今後、よりきめ細
かいケアがなされ、自宅療養者の不安が軽
減されることを期待します。



●ひきこもりについて

相談窓口の明確化を。

厚労省が令和2年10月に出した「ひきこもり支援施策の推進について」の通知では、市町村が令和3年度末までに実施することとして、ひきこもり窓口の明確化、支援対象者

の実態やニーズの把握、支援のためのプラットフォームの設置運営が挙げられています。ひきこもり支援の第一歩は支援対象者の実態をつかむことで、わかりやすく、相談しやすい窓口が必要です。「ひきこもりの相談窓口は、社会福祉課です。他の部署でもご相談に応じます」と市民に知らせることが大切です。

●森林整備について

山林所有者の明確化を。

館山市の林野率は43.6%で、多くが放置林となっています。一昨年の台風による倒木、ナラ枯れで枯れた樹木も大半はそのまま放置されています。

所有者が不明な山林、中には相続されずに何世代も過ぎている所もあり、災害時に倒木や地崩れが起きて

も、所有者が不明で対応できないことがあります。停電の予防のため、電線にかかる危険のある樹木の整備も必要です。山林の有効活用だけでなく、防災のためにも山林の所有者の明確化を進めるべきです。



令和2年度決算

令和2年度一般会計決算は、令和元年度台風からの復旧復興費用、新型コロナウイルス感染症対策のための国の交付金等が増え、規模が増加しました。

歳入326億7,191万6千円、歳出310億7,961万6千円、差引額15億9,230万円のうち、翌年度繰り越し財源2

億9,224万8千円を差し引いた実質収支は13億5万2千円です。

令和元年度台風の際に切り崩した財政調整基金は5億7千万円回復し、16億7千万円となりました。

令和3年度補正予算より

○新型コロナウイルス対策費

新型コロナウイルス対策費として、国から約5,900万円の追加交付が決まりました。

昨年度からと合わせて約12億1,000万円が、コロナ対策費として交付されることになります。



*この追加交付を利用した主な事業

- ・中小企業等事業継続支援給付金 3,574万1千円
(10万~30万円)
申し込み、問い合わせは、館山市商工会議所へ)
- ・宿泊業者感染防止対策等支援 2,227万8千円
(宿泊事業者の感染防止対策等に係る経費の1/2
上限15万円~50万円)
- ・家庭学習対策費 1,240万円
(家庭におけるタブレット端末有効活用のための付属品の整備)

おわりに



この夏、海水浴場が短期間で閉鎖されても、都市部からは多くの観光客が訪れました。緊急事態宣言が解除さ

れ、更に人々の動きは活発になります。再び感染が広がらないよう用心して行動したいと思います。

